

会 議 要 録

名 称	豊 橋 市 環 境 審 議 会	
開催日時	令和 7 年 7 月 1 8 日（金） 午後 1 時 3 0 分から午後 3 時 0 0 分まで	
出席委員数	13 人（委員定数 17 人）	
出席委員名	後藤尚弘委員、八木幸一委員、横田久里子委員、東海林孝幸委員、井上茂穂委員、瀧崎吉伸委員、氏原憲志委員、中嶋康生委員、鈴木節子委員、吉田典子委員、山本貴士委員、梅村昇子委員、西田仁彦委員（名簿順、敬称略）	
事務局 職氏名	環境部長／田中久雄 環境政策課長／井上知之 廃棄物対策課長／鈴木一弘 環境保全課長／村田理行 環境政策課 主幹／大塚英之 課長補佐／五藤尚美	収集業務課長／中木真一 資源化センター長／三木和敏 施設建設室室長／光松健太郎 埋立処理課長／金子敦司
	廃棄物対策課 主査／古谷智晴	環境保全課 課長補佐／瀧澤宏修 収集業務課 課長補佐／藤田裕子
議 題	（１）第 3 次豊橋市環境基本計画の進捗状況について（資料 1） （２）第 2 次豊橋市廃棄物総合計画の進捗状況について（資料 2） （３）第 3 次豊橋市環境基本計画・第 2 次豊橋市廃棄物総合計画の改訂について（資料 3）	
議事の概要	1. 開会 2. 委員の委嘱 3. 議題等 （１）第 3 次豊橋市環境基本計画の進捗状況について （２）第 2 次豊橋市廃棄物総合計画の進捗状況について （３）第 3 次豊橋市環境基本計画・第 2 次豊橋市廃棄物総合計画の改訂について 4. 報告事項 （１）豊橋田原ごみ処理施設整備・運営事業建設工事の進捗状況について 5. 閉会	

環 境 審 議 会 会 議 録

日 時：令和 7 年 7 月 18 日（金） 午後 1 時 3 0 分から午後 3 時 00 分まで

場 所：市庁舎東館 4 階 政策会議室

委員数：13 人／17 人

1. 開会

2. 委員の委嘱

（昨年度に続き、後藤尚弘委員が会長を、鈴木臣委員が副会長を務めることを承認）

3. 議題等

会 長：本審議会の位置づけと本会の調査審議事項である環境基本計画の改訂について、事務局より説明を求める。

（事務局より資料 1 について説明後、質疑等）

会 長：計画の改訂について、地球温暖化対策地域推進計画は温暖化対策推進会議で議論しており、本審議会では環境基本計画と廃棄物総合計画について審議をし、第 2 回の審議会で素案が提示される。

（1）第 3 次豊橋市環境基本計画の進捗状況について（資料 1）

会 長：事務局より、「第 3 次豊橋市環境基本計画の進捗状況について」説明をするように。

（事務局より資料 2 について説明後、質疑等）

委 員：太陽光発電の普及促進にあたっては、太陽光パネルの廃棄を見据えたうえで取組を推進して欲しい。太陽光パネルの廃棄について不安に思っている市民も多い。

また、市の施設に設置している太陽光パネルは事業者が設置していると思うが、発電した電気はその施設で消費しているのか。

事 務 局：パネルの廃棄について、多くの方が懸念されていることは承知している。現在、太陽光パネルのリサイクル制度について国が検討している。市として、その動向を注視していきたい。

市の施設への太陽光パネルの設置についてだが、PPA 手法で事業者が設置している。発電された電力を市が購入して、その施設で消費している。事業終了後に太陽光パネルは市に無償譲渡される契約となっている。

委員：小中学校に設置してある太陽光パネルの稼働率はどれくらいか。稼働していないのではないかと懸念している。

事務局：今、具体的な数については把握をしていない。後ほど確認の上、回答させていただく。

（※令和 7 年 3 月現在、豊橋市内の小中学校等 合計 77 校のうち、太陽光発電が停止しているのは 50 校）

委員：環境目標 V「環境共生の価値観と知恵をはぐくみ、行動する」の実績の中で、中学校と小学校の環境学習の取組が記載されているが、地元で行う環境イベントに参加しただけでは学習の効果が限られる。学習サポート体制についても教えて欲しい。

事務局：市としては物品の供与だけではなく、専門家の派遣し、学習を支援している。

委員：ごみの分別状況について、市は現状をどう認識しているか。

事務局：一定数分別しない市民がいるが、概ね協力いただいていると認識している。引き続き、例えば生ごみは資源となるから分別して欲しいなど呼び掛けていきたい。

事務局：ごみステーションの管理においても、一部ルール守らない人はいる。協力を呼び掛けていく。

委員：最終処分量の数値について確認をしたい。2023 年 6 月豪雨の災害廃棄物が 2024 年度に計上されているが、これはなぜか。

事務局：2023 年 6 月に発生した豪雨による災害廃棄物については、しゅんせつ工事の結果出た一部廃棄物については、最終処分場への持ち込みが 2024 年度になった。

委員：重点取組のプラスチックごみ対策について伺いたい。現在市ではプラスチックごみは一つの分別として収集しているが、市民の中にはプラスチックは石油由来なので燃やすごみとして出していいと思っている人がいる。プラスチックごみの分別の意義について、市の考えを聞かせて欲しい。

事務局：市ではプラマークごみをプラスチックごみとして集めている。これは容器リサイクル法に基づく回収で、収集後リサイクルして資源循環を図っている。今後。

資源化センターの更新にあわせて、市民へのプラスチックごみ分別収集の周知に更に努めてまいりたい。

委員：COD（化学的酸素要求量）について、夏場の増加の原因が工場等ということが明らかになっているか知りたい。また、浄化槽の啓発やごみ分別の啓発について、啓発取組の効果について、市としてどの程度効果があったと考えているか。市民と双方で意見交換している場はあるか。

事務局：COD について、原因の一つは工場等であると考えますが、すべての原因を工場等に求めることはできないと考える。

事務局：市民との対話については、自治連合会と意見交換をしているほか、出前講座等で市民に直接説明をしている。ただ、すべての市民に届いているわけではないので、環境基本計画や廃棄物総合計画の改訂にあたり、周知啓発の方法についても考えていきたい。

委員：最近、愛知県でアサリが取れなくなった。これは海が非栄養価しているのが原因、有機物を豊川浄化センターから流すことでようやくアサリが冬を越すことができた。継続的にどのように栄養価等をコントロールしていくかが重要だ。

事務局：COD は夏場だけでなく一年中、基準値を上回っている。アサリが育たないのは栄養不足ということは明らかなので、愛知県の方で栄養塩等をコントロールしている。市としても協力していきたい。

委員：食品ロス対策について、学校現場を見ていると子供たちへの食育が不足しているのではないかと感じる。食品ロスだけでなく、食全般の教育を強化すべきだ。市環境部には、農業担当部局等とも連携して取組を進めて欲しい。ごみの分別について、自治会の組織力が落ちていると感じる。ごみの収集について、自治会だけに頼るだけでなく、今後を見据える必要がある。

事務局：自治会にいろいろと依頼をしているところだが、市としてもステーションアドバイザーなど自治会へのサポートを今後も続けていきたい。

委員：町内でごみステーションを設置する場所が減っている。公園等に設置せざるをえないが部外者が持ってくるなど管理に苦慮している。

事務局：自治会管理のごみステーション約 3,800 か所ある。街中では場所がないことは課題となっている。現場に出向き地域にあった対応を検討していきたい。

会 長：事務局より、「第2次豊橋市廃棄物総合計画の進捗状況について」説明を。

(事務局より資料3について説明)

委 員：一点目、合併処理浄化槽については、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へと普及率を徐々に上げていくという方針かどうか確認したい。二点目、豊橋市の最終処分場の受け入れ可能容量に対して現時点でどれくらい受け入れているか教えて欲しい。

事 務 局：合併処理浄化槽について予算的な制約もあることから、段階的に補助金の件数を増やしている。年度ごとに地域を定め重点的にチラシ等の配布し、促進を図っている。

事 務 局：最終処分場全体の埋め立て量が200万 m^3 、現在は150万 m^3 埋まっている。残余年数については、今後のごみ処理量もあるので、具体的な年数は公表等していない。

委 員：廃棄物総合計画全体についての意見だが、リサイクル率など明らかに目標値に達成していない項目があるが、指標の目標は見直しをするのか。

事 務 局：リサイクル率については、溶融スラグの販売再開、生ごみ分別の徹底などを進めていけば目標値を達成できるものと見込んでいる。

事 務 局：浄化槽の法定11条検査受検率について、目標値に向けなかなかきびしい状況ではあるが、業者への協力を求めながら引き続き目標に向けて取組を続ける。

事 務 局：最終処分量については、新施設の炉ができて焼却残渣が減り分別も変わることから、目標に向けて取組を続ける。

委 員：最終処分量の目標6,200tという数字について、これを引き続き目指していくのか。新施設ができればこの目標を達成できるのか。

事 務 局：目標を変える予定はない。新施設稼働に伴い達成できる見込み。

委 員：「1人1日当たりの家庭系ごみ排出量」、「リサイクル率」、「最終処分量」の各数値は横ばいや悪化しているが、「ごみ排出量」の数値は改善している。この理由を教えて欲しい。

事 務 局：ごみ自体は順調に減ってきている。しかし、災害廃棄物の持ち込み等によりその他指標には表れていないという状況だ。

会 長：事務局より、「第3次豊橋市環境基本計画・第2次豊橋市廃棄物総合計画の改訂について」説明を。

（事務局より資料4、5について説明）

会 長：10月までに意見を事務局に寄せれば、計画への反映を検討してもらえということ。先ほど、委員より質問のあった目標をそのまま据えるということであれば、注釈等を加えてわかりやすくして欲しい。

会 長：事務局より、「豊橋田原ごみ処理施設整備・運営事業建設工事の進捗状況について」報告を。

（事務局よりスライド等を用いて進捗状況について報告）

事 務 局：忙しい中、熱心な議論をいただき感謝する。リサイクル率や最終処分場の容量の問題については、新施設の稼働に向けていく中でごみの分別を変更等する中で工夫をしてまいりたい。今後ともご意見を頂戴したい。